

# 2018 草木染塾 9月講座

開催日 [2018年9月10日(月曜日)]

開催場所 [川崎市黒川青少年野外活動センター]

一文紹介 [染材の量と染まり方の違い・藍染の簡単な模様だし]

## 公開記事

今回は、クリとオオバヤシャブシの生葉染とインド藍による簡単な模様だしをテーマとして実施しました。

- ① クリとオオバヤシャブシの生葉を素材に、各素材ごとに生葉の量を変えて染液の抽出を行いました。オオバヤシャブシは少量の方が赤みが強く透明な染液になり、多いと濁った濃い色になりました。  
今まで量の多い方がよい染液になると思っていたので目から鱗でした。媒染剤もかなり少量で色が変わるのを体験しました。  
各々、ミョウバンと鉄で媒染を試みました。生葉染は絹が良く染まるので絹のストールをぼかし染めなど色々工夫を凝らして染めました。
- ② 藍染の簡単模様だしは「小学生がたくさん来た！」という設定で割り箸・洗濯バサミ・ホッチキス・糸などを使用して自由な模様を作り出し、短時間に面白い作品になりました。

毎回時間に追われ大忙しの勉強会ですが、出来上がった作品は想定外の面白さ！！やこんなはずじゃなかった！と反省があったりと充実した時間を過ごしました。

終了後の振り返りでは、今までの講座で作成した作品の利用の仕方やストール等の活用方法の必要性が有りとの意見が出ました。次回にむけて更にレベルアップする研修になりそうです。

参加者の中で一番の初心者で、いつも講師や先輩方の手際の良さに驚かされていますが、少しでも皆さんに近づけたら良いと思っています。身近にある植物を使い日々の生活の中で生かしていければ・・・小さな幸せを感じられると思いました。

参加者 瀧浪、松田、臼井、桜井、小川

講師 奥村、中野、矢吹（アシスタント）

報告者 小川和恵（27年）



洗濯バサミの模様だし



割り箸で模様だし



藍染で様々な模様が並んだ



ストールの生葉染